

調査の結果

1 暮らし向き

問1 暮らし向き

お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろに比べて良くなりましたか。それとも悪くなりましたか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

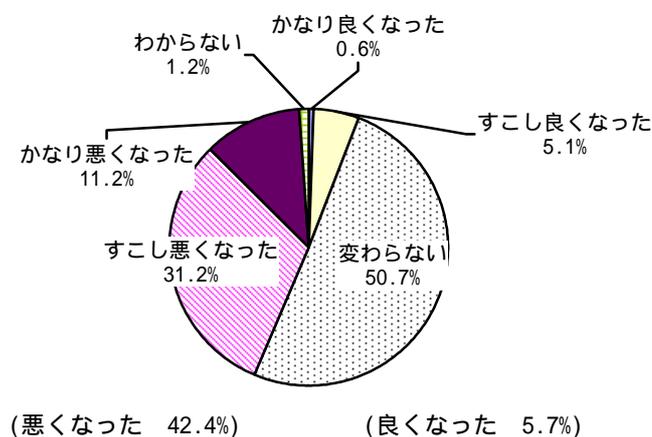
	(%)
1 かなり良くなった	0.6
2 すこし良くなった	5.1
3 変わらない	50.7
4 すこし悪くなった	31.2
5 かなり悪くなった	11.2
6 わからない	1.2

それは主にどういう理由によるものですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(回答者 = 496人)	(%)
1 日常の生活費が増えた		18.8
2 収入が減った(働き手が減った)		47.4
3 営業不振、営業経費が増えた		7.7
4 教育費が増えた		4.8
5 特別事情による(結婚、出産、病気、災害など)		11.5
6 その他		8.7
7 わからない		1.2

暮らし向きが昨年に比べて「良くなった」と思うか、それとも「悪くなった」と思うかを聞いたところ、「悪くなった」と答えた人の割合が42.4%（「すこし悪くなった」：31.2%、「かなり悪くなった」：11.2%）、「変わらない」が50.7%を占めている。

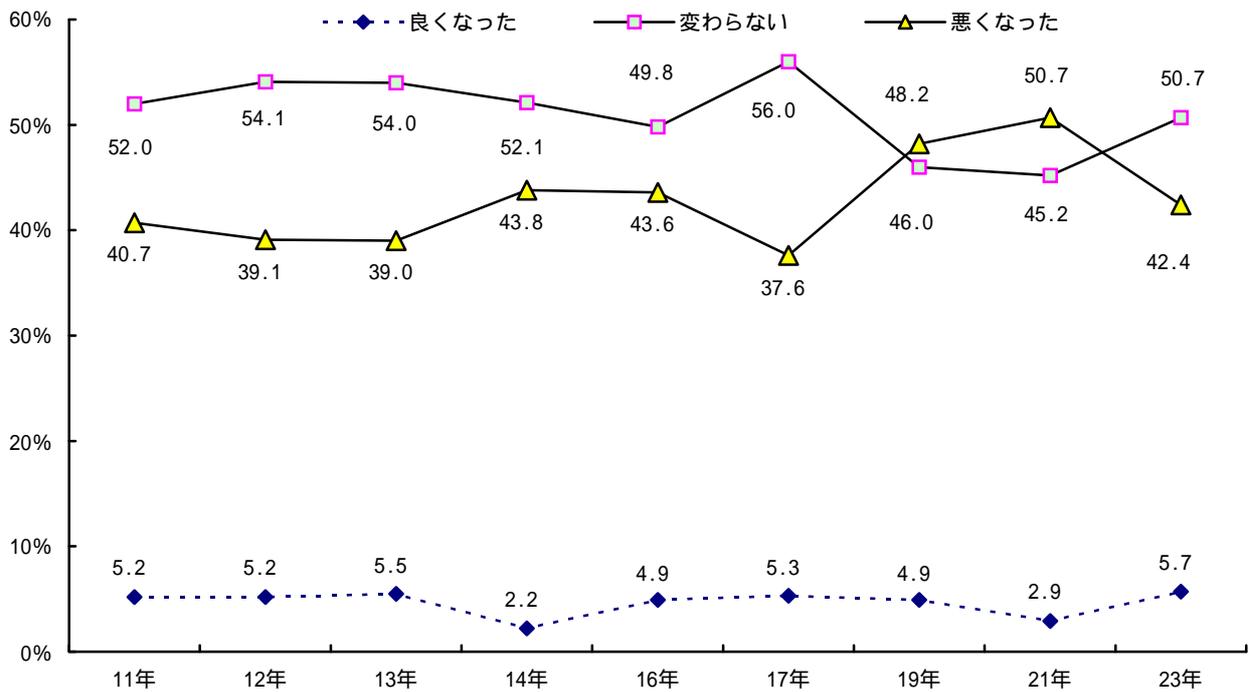
また、「良くなった」と答えた人の割合は5.7%（「かなり良くなった」：0.6%、「すこし良くなった」：5.1%）であった。



【経年変化】

経年変化をみると、「悪くなった」と答えた人の割合が減少に転じ、平成21年調査（以下「前回調査」という。）と比較して8.3%減少している。

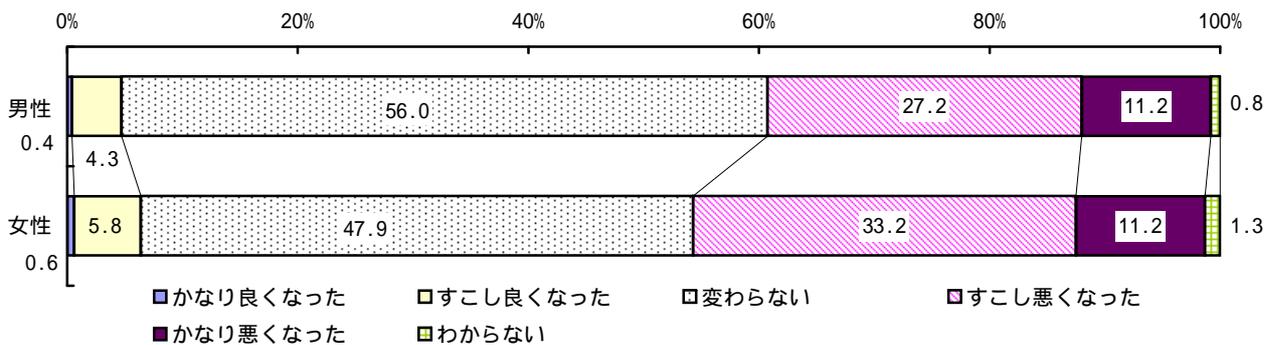
また、「変わらない」及び「良くなった」と答えた人の割合は増加に転じ、前回調査と比較してそれぞれ5.5%、2.8%増加している。



【性別】

性別にみると、「良くなった」及び「変わらない」と答えた人の割合の合計は男女共に50%を超えている。（男性60.7%、女性54.3%）

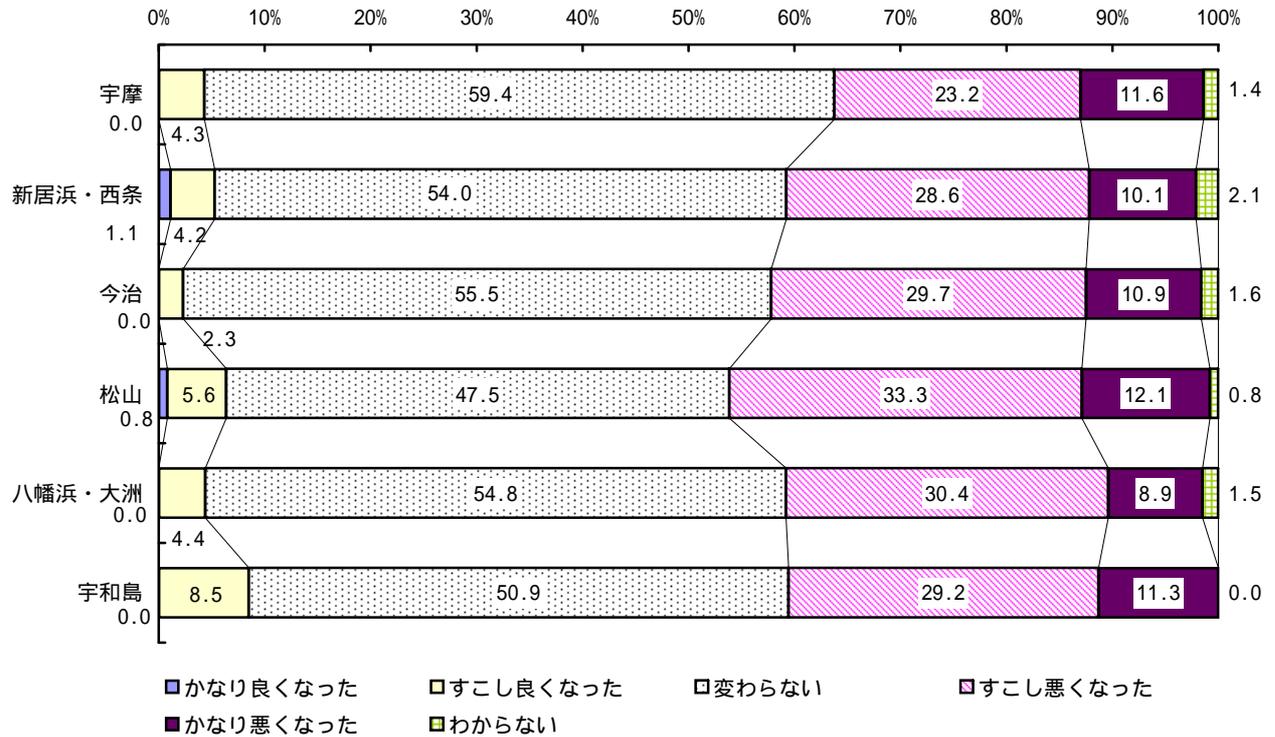
一方、「すこし悪くなった」と答えた人の割合は、女性（33.2%）の方が男性（27.2%）よりも多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「変わらない」と答えた人の割合が最も多く、「悪くなった」と答えた人の割合は前回調査よりも減少している。

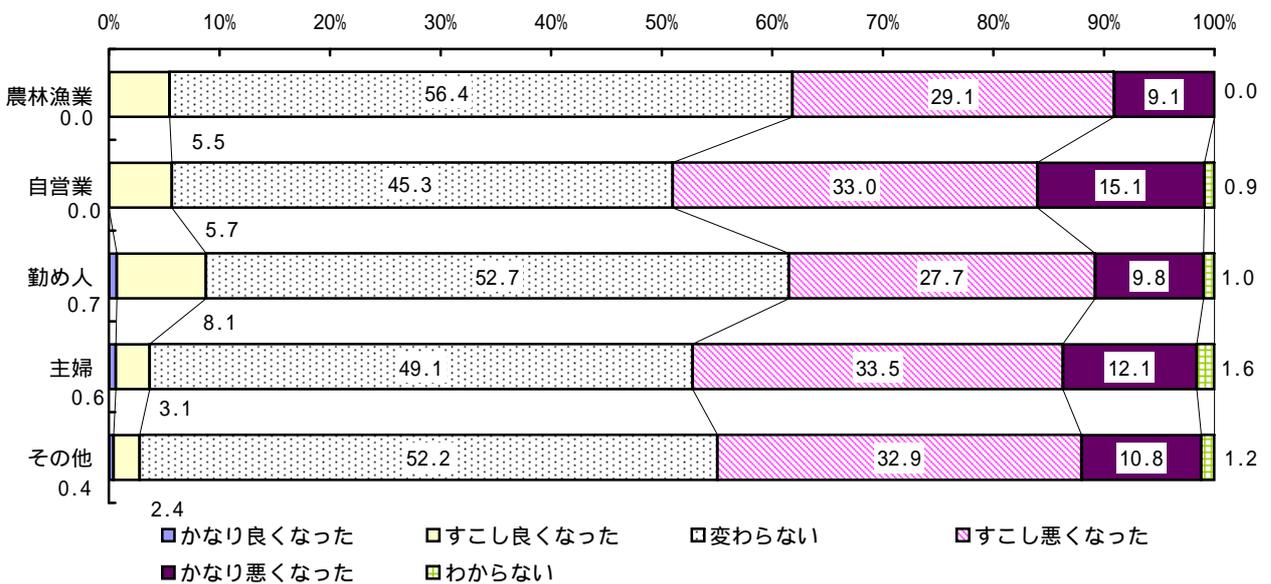
また、宇和島圏域では、「良くなった」と答えた人の割合は8.5%（前回調査より7.0%増加）と他の圏域と比較して最も多くなっている。



【職業別】

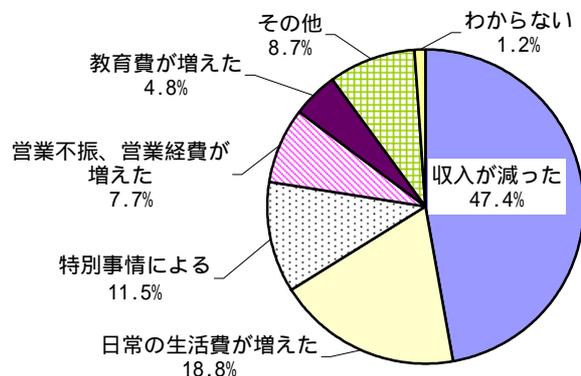
職業別にみると、自営業で「悪くなった」と答えた人の割合が48.1%で最も多いが、前回調査と比較して20.2%減少している。

また、農林漁業、勤め人、主婦及びその他では「変わらない」と答えた人の割合が最も多くなっている。（「良くなった」「変わらない」「悪くなった」の3区分での比較）



《暮らし向きが悪くなった理由》

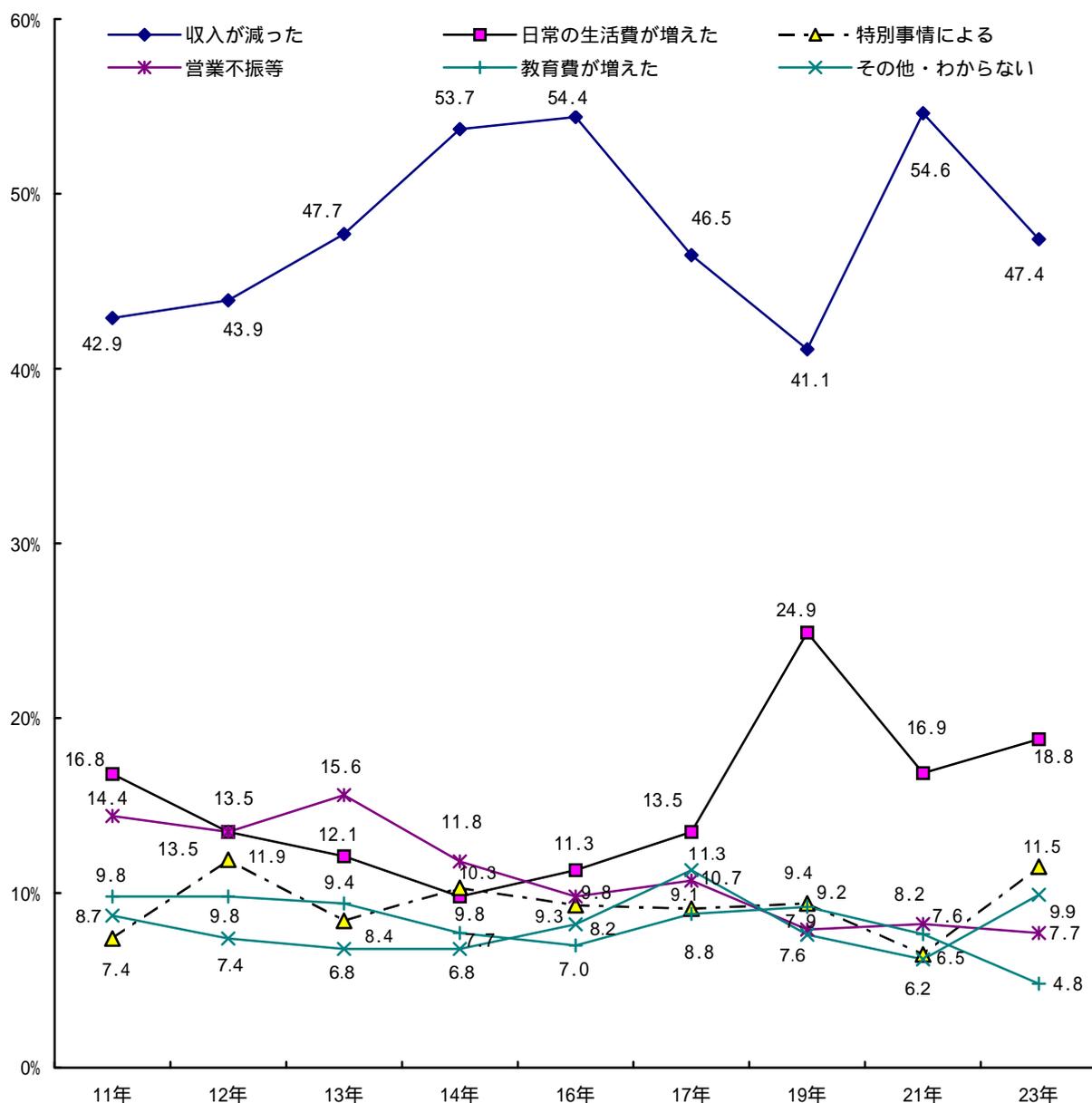
暮らし向きが「悪くなった」と答えた人に、その主な理由を聞いたところ、「収入が減った（働き手が減った）」（47.4%）が特に多く、以下「日常の生活費が増えた」（18.8%）、「特別事情による（結婚、出産、病気、災害など）」（11.5%）、「営業不振、営業経費が増えた」（7.7%）、「教育費が増えた」（4.8%）の順となっている。



【経年変化】

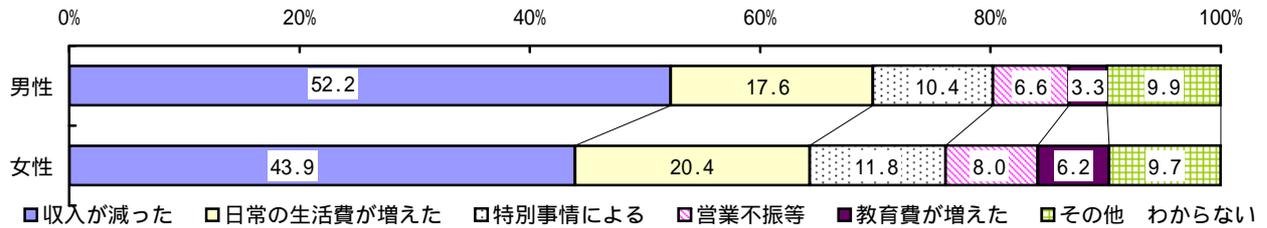
経年変化をみると、暮らし向きが悪くなった理由のうち「収入が減った（働き手が減った）」と答えた人の割合は、前回調査よりも7.2%減少している。

また、「特別事情による（結婚、出産、病気、災害など）」は前回調査より5.0%増加し、「教育費が増えた」と答えた人の割合は前回調査より2.8%減少している。



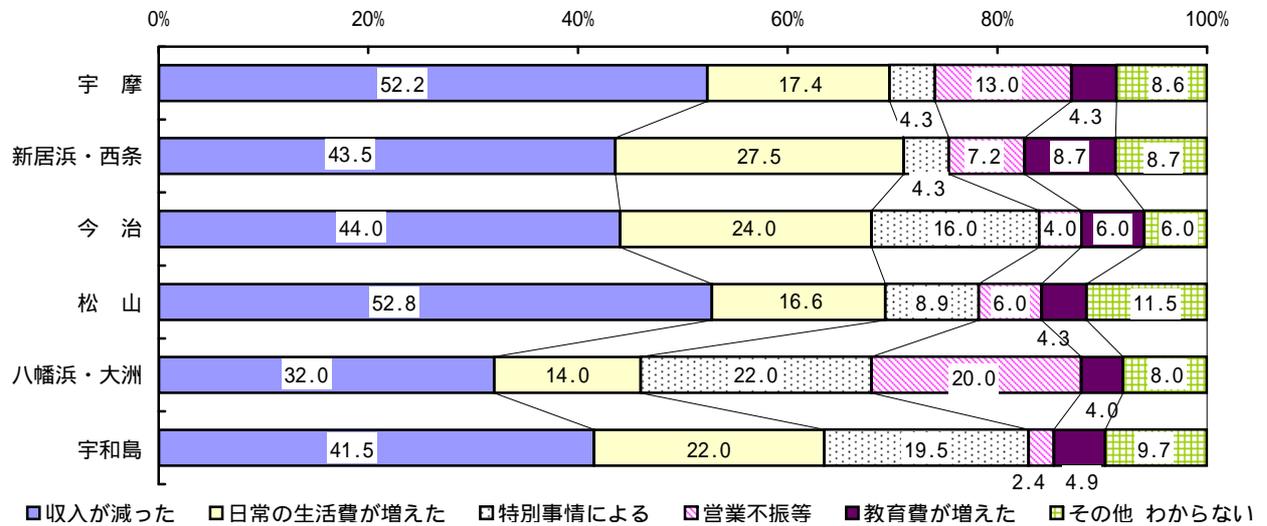
【性別】

性別にみると、男女共に「収入が減った（働き手が減った）」と答えた人の割合が最も多く、男性で52.2%、女性で43.9%であった。（前回調査と比較すると、男性で4.5%減少、女性で9.0%減少）
 また、「日常の生活費が増えた」と答えた人の割合は、女性（20.4%）の方が男性（17.6%）よりも2.8%多く、「特別事情による（結婚、出産、病気、災害など）」、「営業不振、営業経費が増えた」、「教育費が増えた」も女性の方が多くなっている。



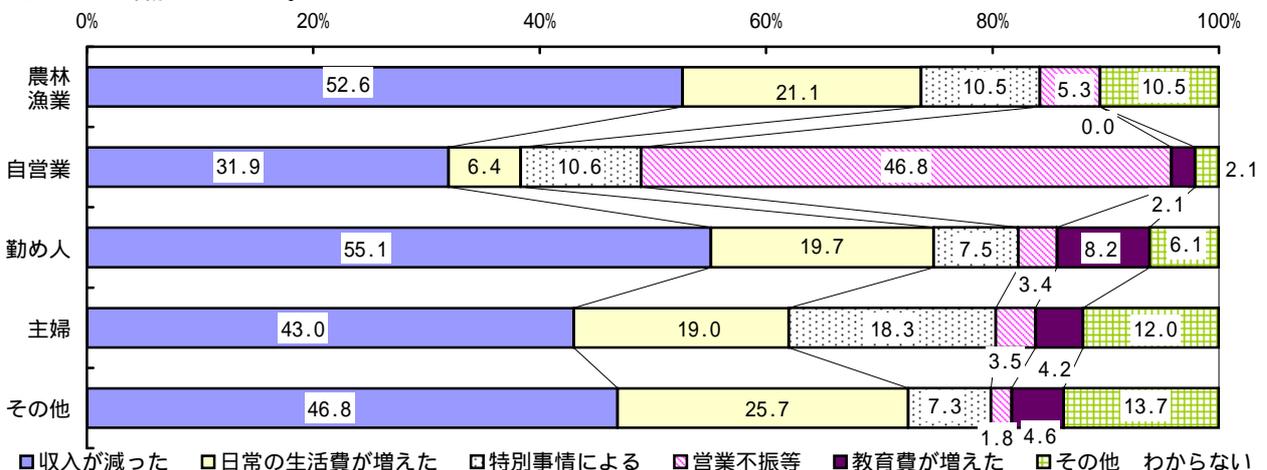
【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「収入が減った（働き手が減った）」と答えた人の割合が最も多く、中でも宇摩圏域（52.2%）、松山圏域（52.8%）では50%を超えている。前回調査と比較すると、宇摩圏域で9.0%増加しているが、他の圏域では全て減少している。
 また、「特別事情による（結婚、出産、病気、災害など）」と答えた人の割合は八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域で、「営業不振、営業経費が増えた」は八幡浜・大洲圏域で、それぞれ他の圏域と比較して多くなっている。



【職業別】

職業別にみると、自営業を除く全ての職種で「収入が減った（働き手が減った）」と答えた人の割合が最も多いが、前回調査と比較すると全ての職種で「収入が減った（働き手が減った）」と答えた人は減少している。
 また、自営業は「営業不振、営業経費が増えた」と答えた人が最も多く（46.8%）、前回調査と比較して3.2%増加している。



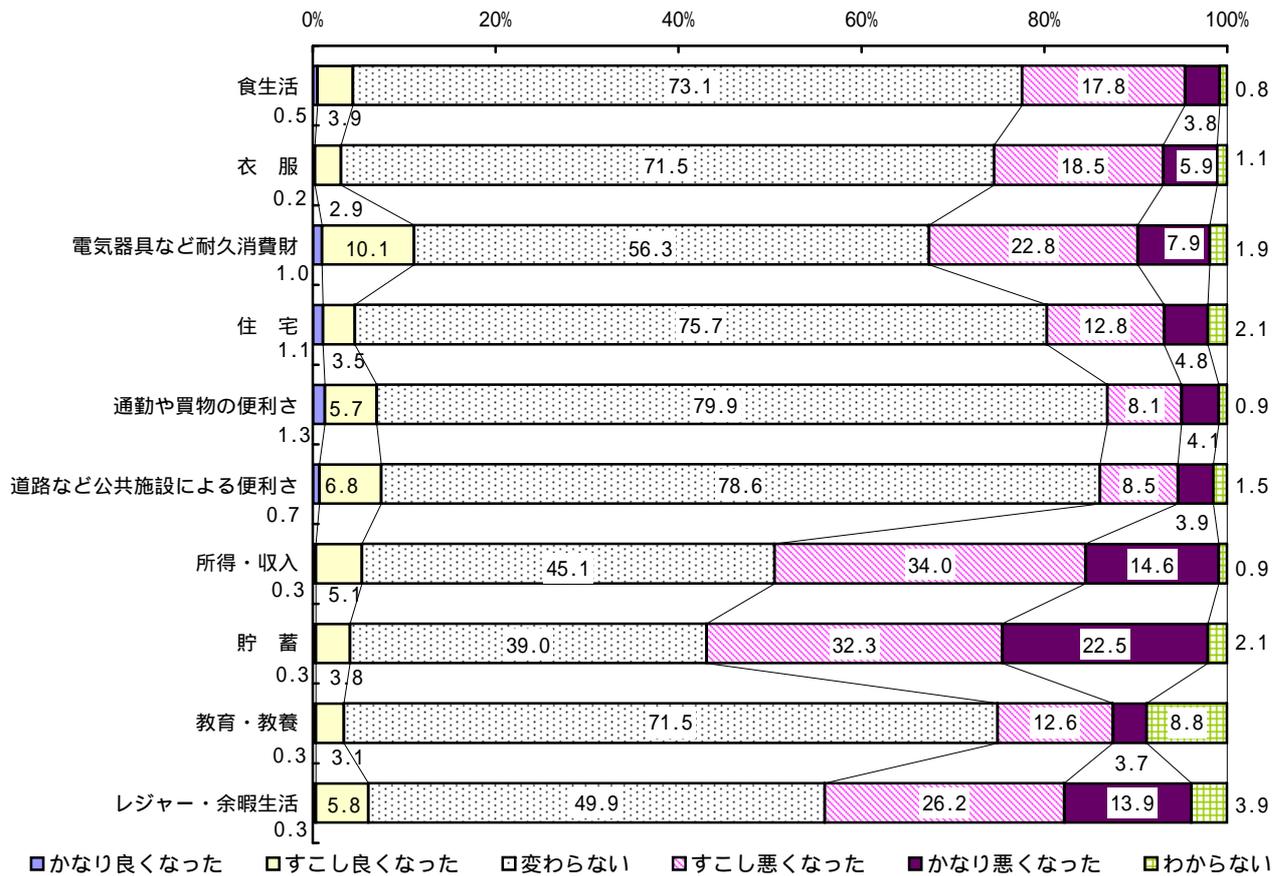
問2 暮らし向きの変化

お宅の暮らしの中で、次の各項目は、昨年の今ごろに比べ良くなりましたか。それとも悪くなりましたか。項目ごとにそれぞれ該当するもの一つずつ選んで番号を で囲んでください。

項 目	かなり良くなった	すこし良くなった	変わらない	すこし悪くなった	かなり悪くなった	わからない
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1 食生活	0.5	3.9	73.1	17.8	3.8	0.8
2 衣服	0.2	2.9	71.5	18.5	5.9	1.1
3 電気器具、家具、自動車 など耐久消費財	1.0	10.1	56.3	22.8	7.9	1.9
4 住宅	1.1	3.5	75.7	12.8	4.8	2.1
5 通勤や買物の便利さ	1.3	5.7	79.9	8.1	4.1	0.9
6 道路など公共施設による便利さ	0.7	6.8	78.6	8.5	3.9	1.5
7 所得・収入	0.3	5.1	45.1	34.0	14.6	0.9
8 貯蓄	0.3	3.8	39.0	32.3	22.5	2.1
9 教育・教養	0.3	3.1	71.5	12.6	3.7	8.8
10 レジャー・余暇生活	0.3	5.8	49.9	26.2	13.9	3.9

(参考)	良くなった	変わらない	悪くなった
1 食生活	4.4	73.1	21.6
2 衣服	3.1	71.5	24.4
3 電気器具、家具、自動車 など耐久消費財	11.1	56.3	30.7
4 住宅	4.6	75.7	17.6
5 通勤や買物の便利さ	7.0	79.9	12.2
6 道路など公共施設による便利さ	7.5	78.6	12.4
7 所得・収入	5.4	45.1	48.6
8 貯蓄	4.1	39.0	54.8
9 教育・教養	3.4	71.5	16.3
10 レジャー・余暇生活	6.1	49.9	40.1

暮らしの各面から10項目を取り上げ、昨年に比べて「良くなった」（「かなり良くなった」及び「すこし良くなった」と思うか、それとも「悪くなった」（「すこし悪くなった」及び「かなり悪くなった」と思うか）をそれぞれ聞いたところ、「所得・収入」及び「貯蓄」の項目で「悪くなった」と答えた人の割合が多くなっている。（「所得・収入」：48.6%、「貯蓄」：54.8%）
 また、「良くなった」と答えた人の割合が比較的多い項目としては「電気器具、家具、自動車など耐久消費財」（11.1%）、「道路など公共施設による便利さ」（7.5%）、「通勤や買物の便利さ」（7.0%）などが挙げられるが、全ての項目で「悪くなった」を下回っている。

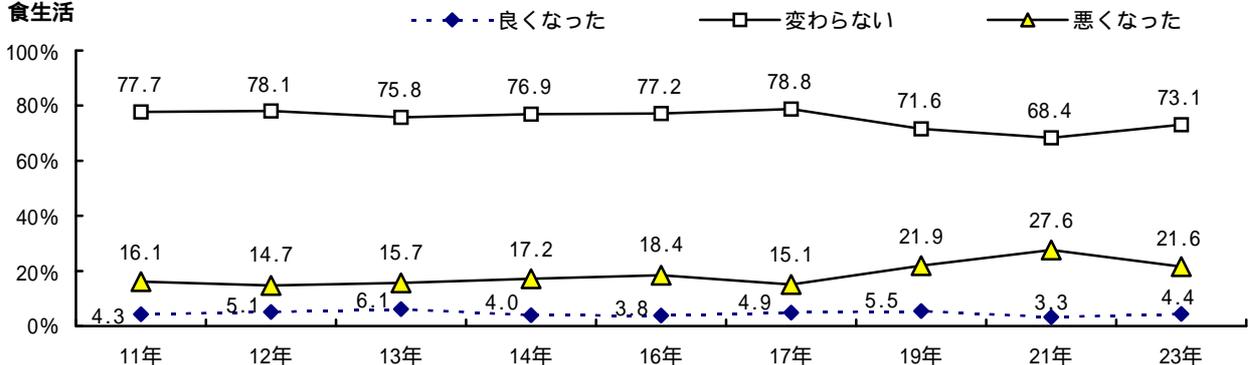


【経年変化】

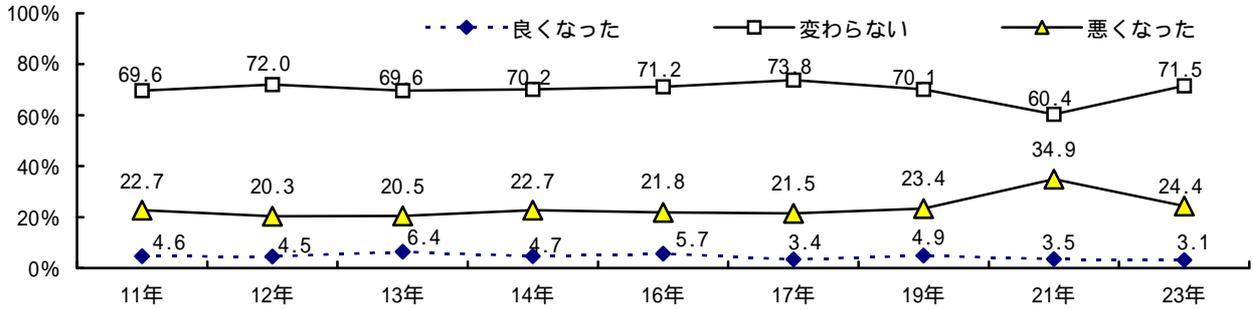
経年変化をみると、前回調査では、「悪くなった」と答えた人の割合が、全ての項目において平成11年調査以降で最も多くなっていたが、今回は、「通勤や買物の便利さ」及び「道路など公共施設による便利さ」を除く8項目において、「悪くなった」と答えた人の割合が減少に転じた。特に「衣服」においては、「悪くなった」と答えた人の割合が10.5%と大幅に減少している。

また、「良くなった」と答えた人の割合について、前回調査と比較して一番大幅に増加したのは、「電気器具など耐久消費財」の3.5%増加であった。

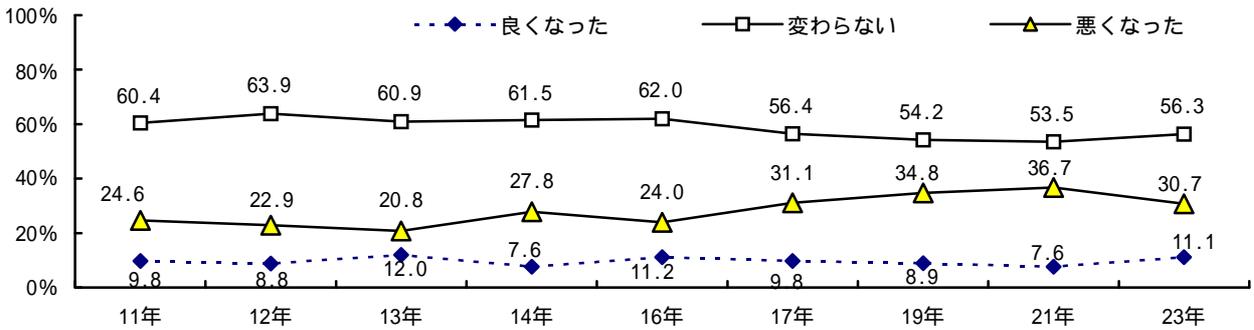
食生活



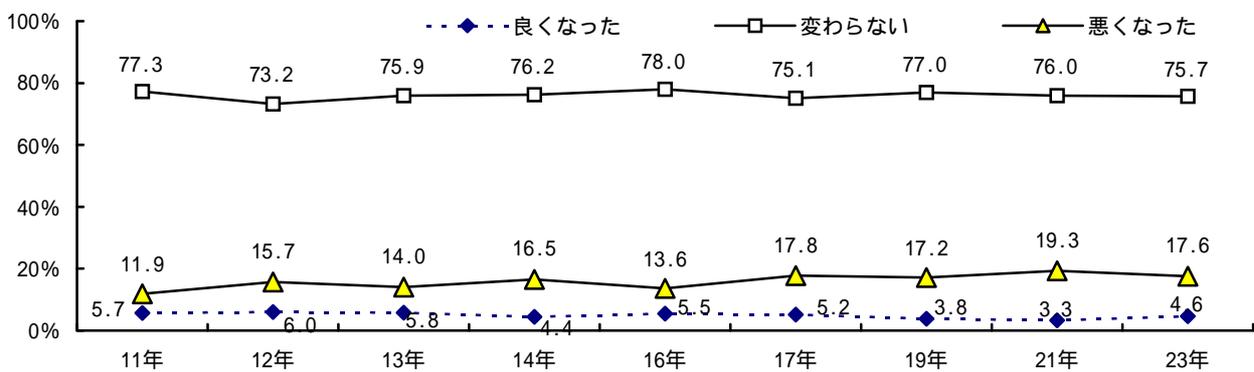
衣服



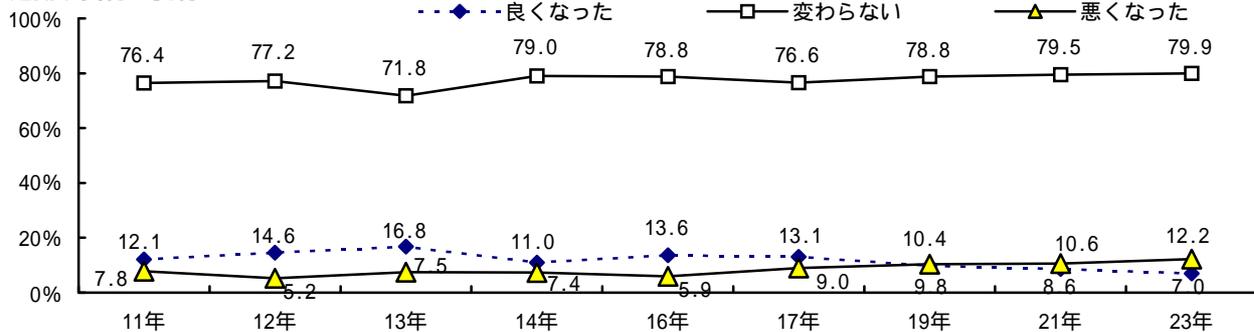
電気器具など耐久消費財



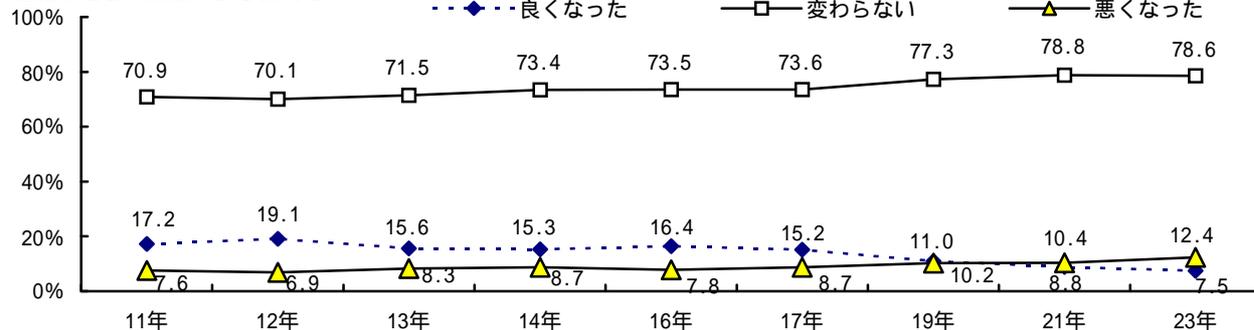
住宅



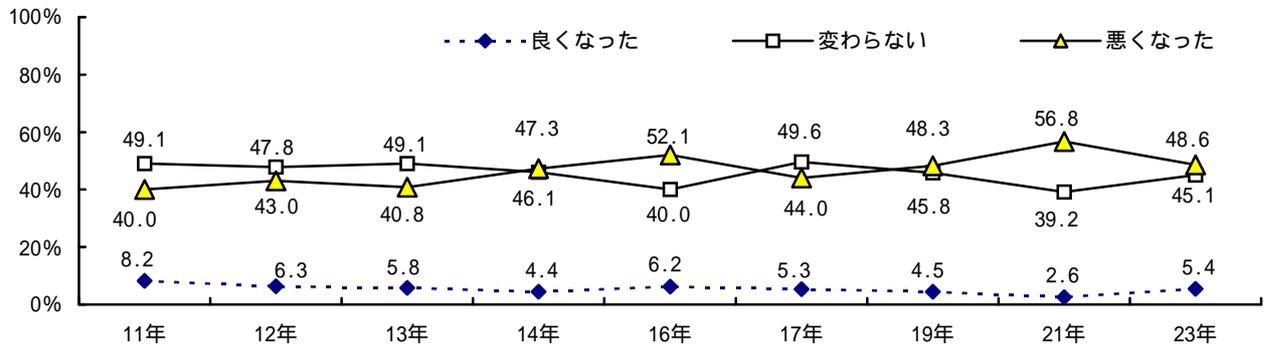
通勤や買物の便利さ



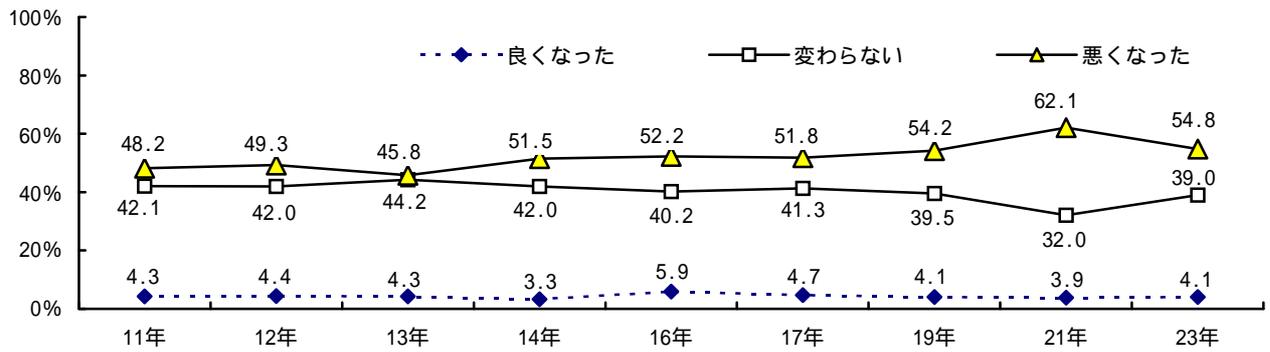
道路など公共施設による便利さ



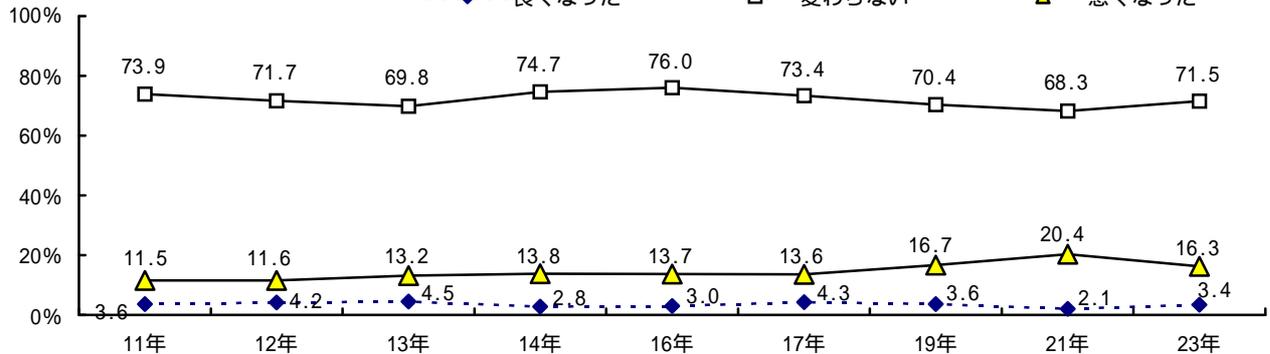
所得・収入



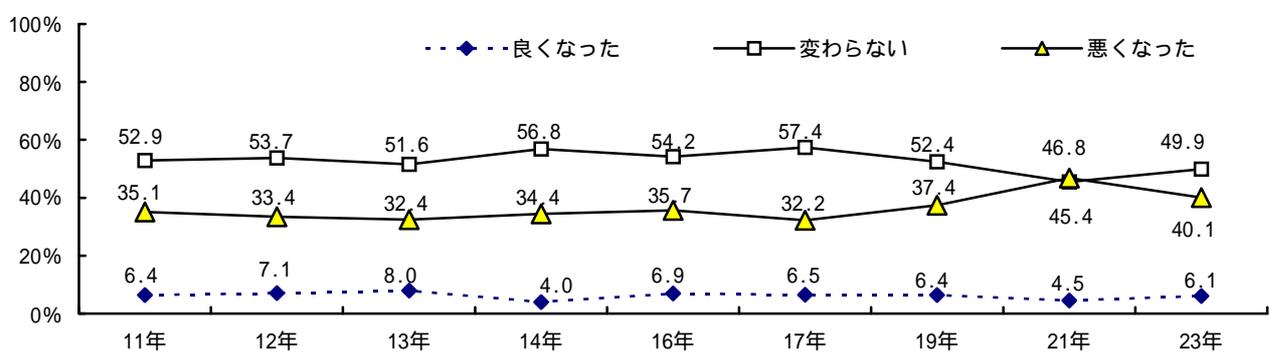
貯蓄



教育・教養



レジャー・余暇生活



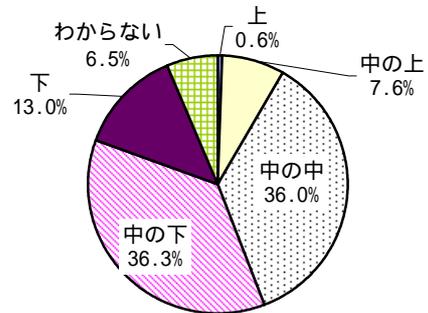
問3 暮らし向き の程度

お宅の暮らしの程度は、世間一般からみて、次のどれに入りますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 上	0.6
2 中の上	7.6
3 中の中	36.0
4 中の下	36.3
5 下	13.0
6 わからない	6.5

暮らし向きの程度を世間一般からみてどの程度だと思っているかを聞いたところ、「中の下」と答えた人の割合が36.3%で最も多く、「中の上」(7.6%)及び「中の中」(36.0%)と合わせて79.9%の人が中流意識を示している。

また、「上」と答えた人の割合は0.6%、「下」と答えた人の割合は13.0%であった。

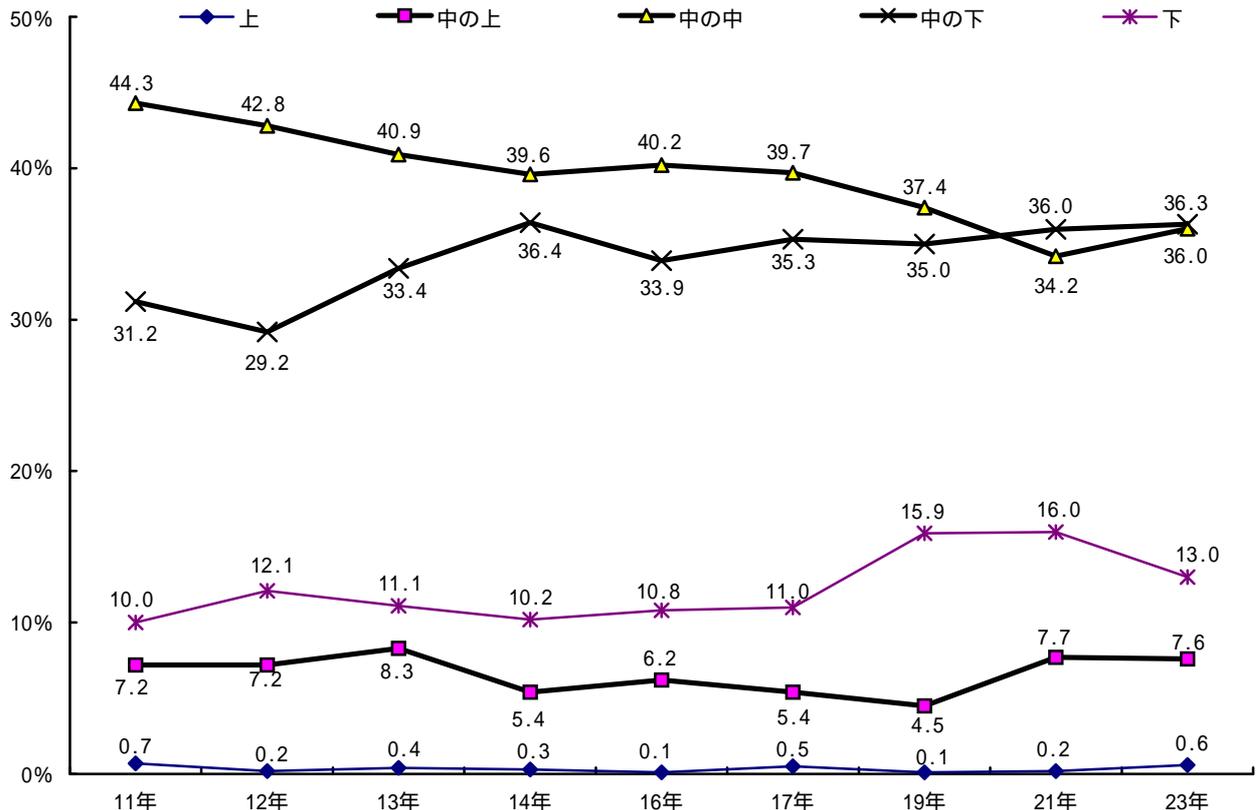


(中 79.9%)

【経年変化】

経年変化をみると、暮らし向きに対する県民の中流意識は引き続き強く、いずれの調査年においても、80%程度の人が、自分の家庭の暮らし向きの程度を中程度だと評価しており、今回調査では、「中」と答えた人の割合は、前回調査に比べて2.0%増加している。

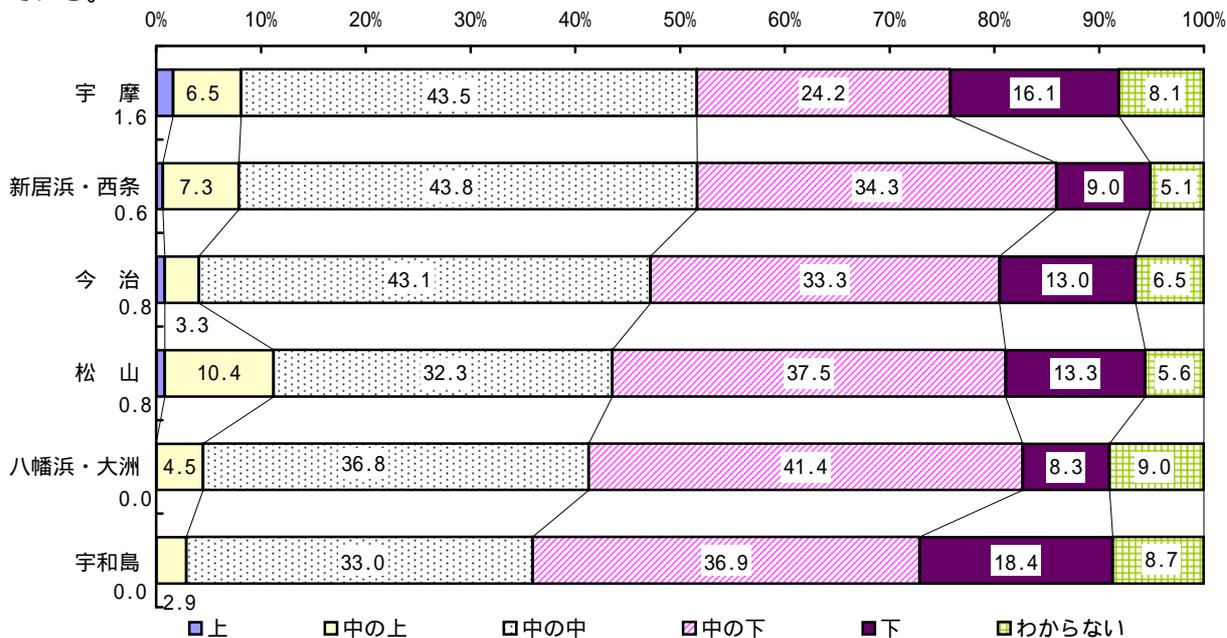
また、「下」と答えた人の割合は3.0%減少している。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域、新居浜・西条圏域、今治圏域では「中の中」と答えた人の割合が、松山圏域、八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域では「中の下」と答えた人の割合が最も多くなっている。

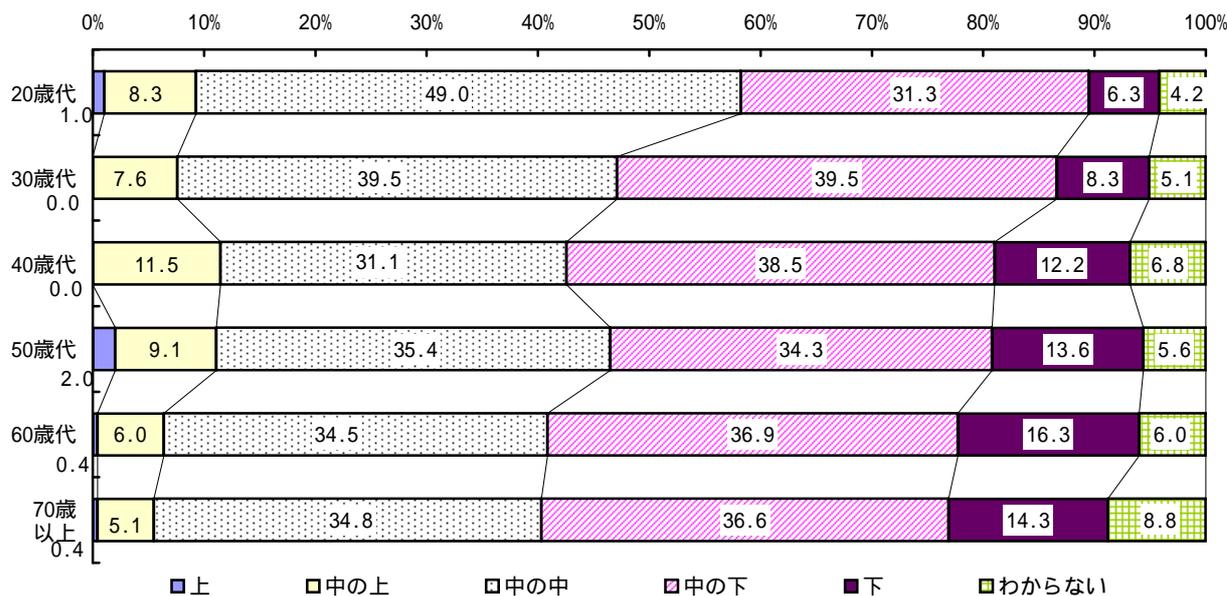
また、「下」と答えた人の割合は宇和島圏域（18.4%：前回調査より6.2%減少）で、「上」及び「中の上」の合計は松山圏域（11.2%：前回調査より3.7%増加）で、それぞれ他の圏域と比較して多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代では「中の中」と「中の下」と答えた人の割合が同率であるが、20歳代及び50歳代では「中の中」と答えた人の割合が最も多く、それ以外の年代では「中の下」が最も多くなっている。中でも20歳代では「中の中」が前回調査より7.5%増加し49.0%となっている。

また、前回調査と比較すると、60歳代で「下」と答えた人の割合が前回調査より6.8%減少している。



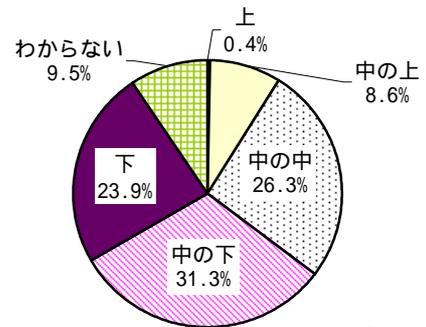
問4 資産の程度

お宅の資産（土地、家屋、預貯金等）は、世間一般からみて、次のどれに入ると思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 上	0.4
2 中の上	8.6
3 中の中	26.3
4 中の下	31.3
5 下	23.9
6 わからない	9.5

資産（土地、家屋、預貯金等）を世間一般からみてどの程度だと思っているかを聞いたところ、「中の下」と答えた人の割合が31.3%で最も多く、「中の中」（26.3%）及び「中の上」（8.6%）と合わせて66.2%の人が中流意識を示しているが、問3の暮らし向きの程度（中：79.9%、下：13.0%）と比較すると評価が低い。

また、「上」と答えた人の割合は0.4%、「下」と答えた人の割合は23.9%であった。

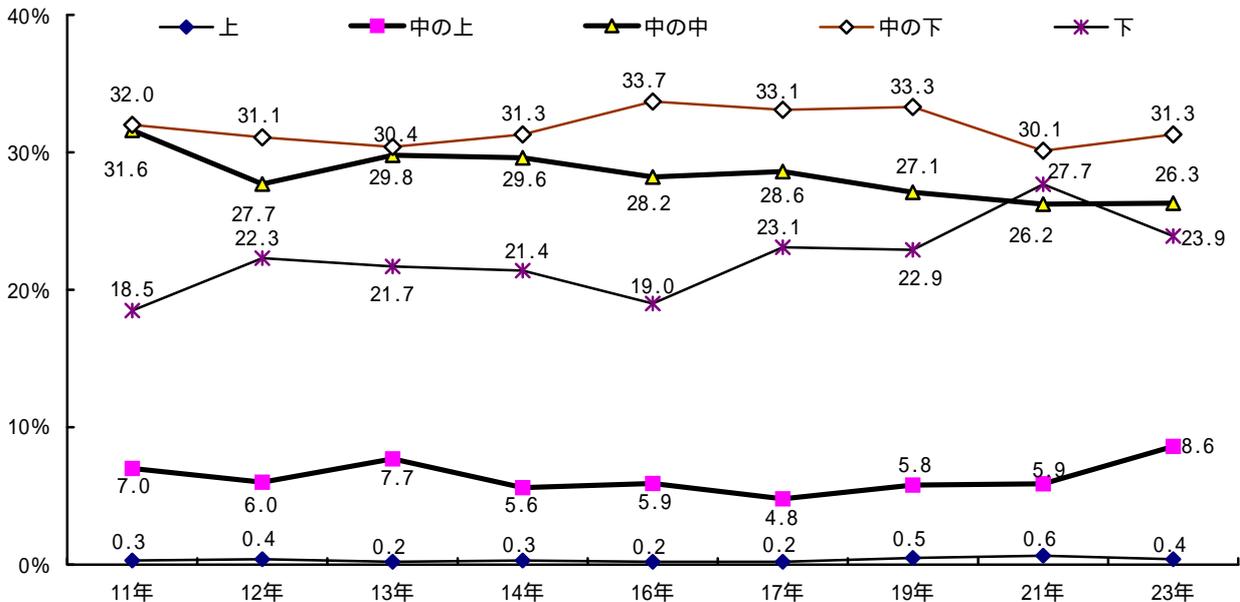


(中 66.2%)

【経年変化】

経年変化をみると、資産に対する県民の中流意識は引き続き強く、前回調査と比較すると「中」と答えた人の割合は4.0%増加している。

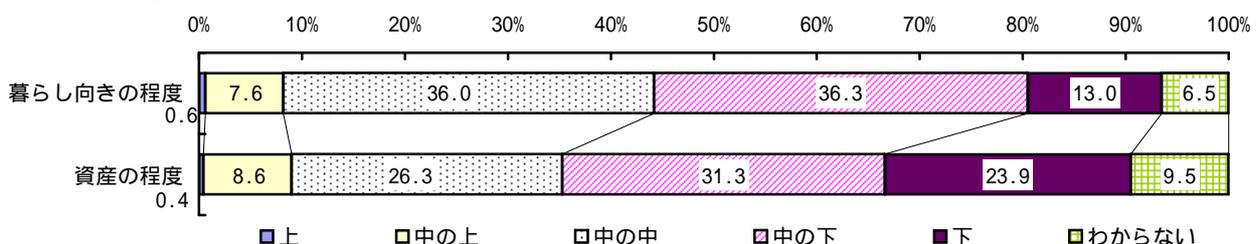
また、「下」と答えた人の割合が前回調査より3.8%減少し、「中の上」と答えた人の割合は前回調査より2.7%増加した。



【暮らし向きの程度と資産の程度】

問3の暮らし向きの程度と問4の資産の程度の意識を比較してみると、どちらも「中の下」と答えた人の割合が最も多くなっている。（暮らし向きの程度の方が5.0%多い。）

また、「中」と答えた人の割合は暮らし向きの程度の方が13.7%多く、「下」は資産の程度の方が10.9%多くなっている。



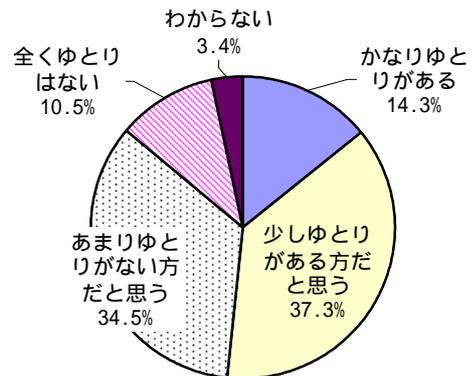
問5 生活のゆとり感

あなたは、普段の生活で時間的なゆとりがある方だと思いますか。それともない方だと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 かなりゆとりがある	14.3
2 少しゆとりがある方だと思う	37.3
3 あまりゆとりがない方だと思う	34.5
4 全くゆとりはない	10.5
5 わからない	3.4

普段の生活における時間的なゆとりの有無について聞いたところ、「ゆとりがある」と答えた人の割合は51.6%（「かなりゆとりがある」（14.3%）、「少しゆとりがある方だと思う」（37.3%））であった。

また、「ゆとりがない」は45.0%（「あまりゆとりがない方だと思う」（34.5%）、「全くゆとりはない」（10.5%））であり、時間的なゆとりがあると感じている人の方が、やや多くなっている。



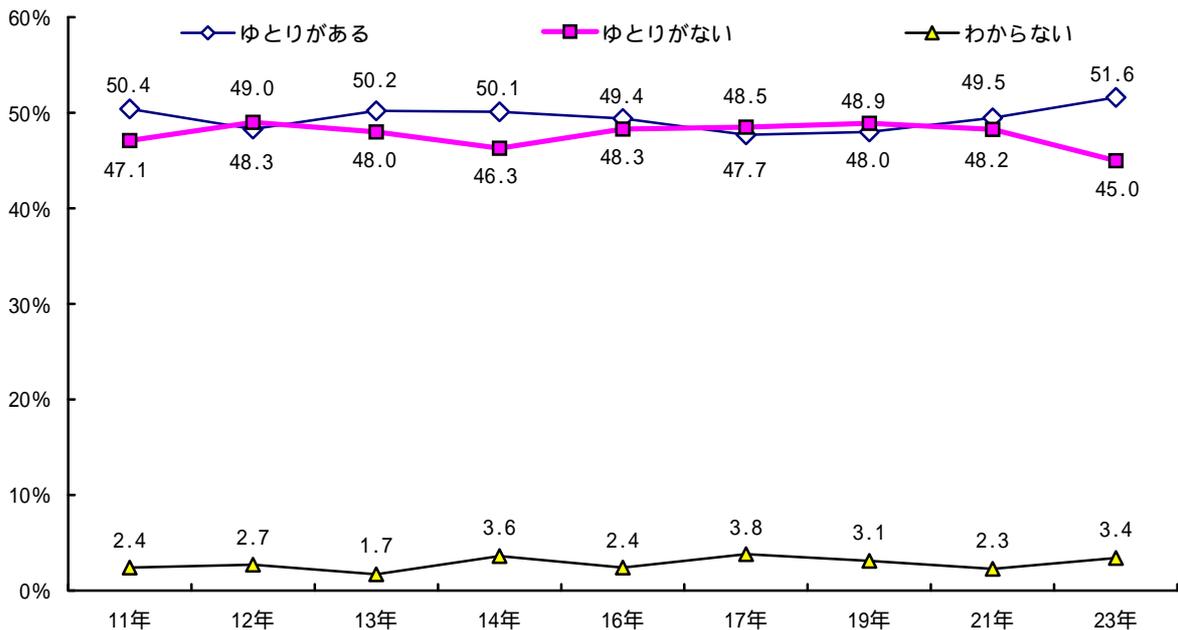
(ゆとりはない 45.0%)

(ゆとりがある 51.6%)

【経年変化】

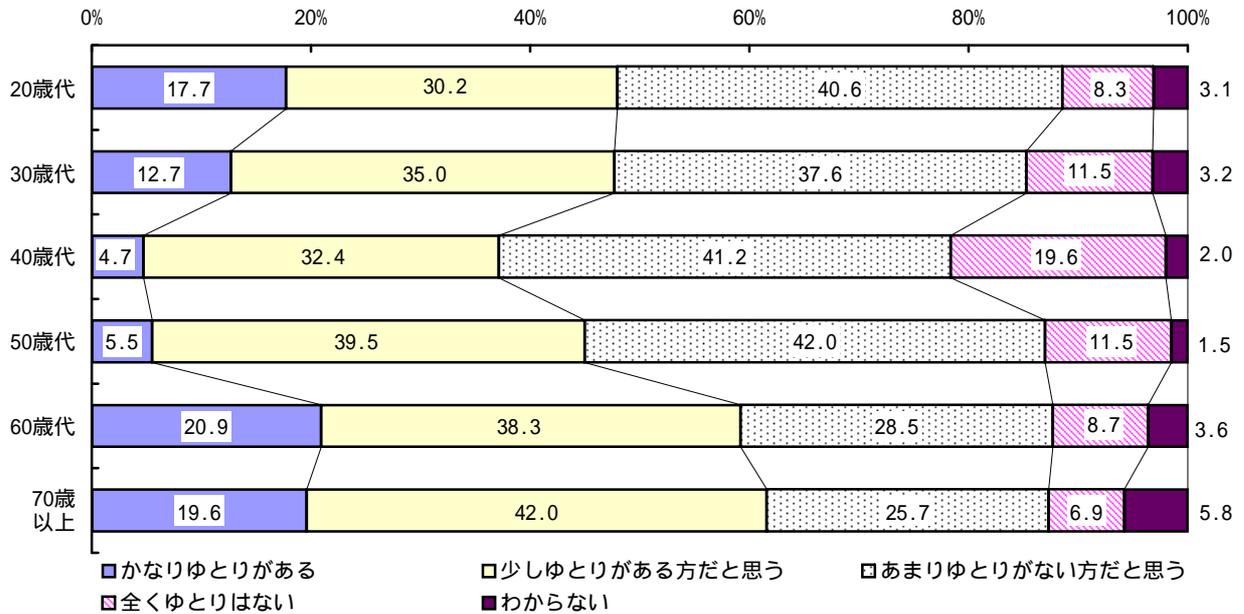
経年変化をみると、「ゆとりがある」と答えた人の割合は、前回調査より2.1%増加しており、微増傾向が続いている。

また、「ゆとりがない」と答えた人の割合は、前回調査より3.2%減少した。



【年齢別】

年齢別にみると、60歳代及び70歳以上では「ゆとりがある」と答えた人の割合の方が多く、20歳代から50歳代では「ゆとりがない」の方が多くなっている。特に「ゆとりがある」は60歳代以上（60歳代：59.2%、70歳以上：61.6%）で多く、「ゆとりがない」は40歳代（60.8%）、50歳代（53.5%）で多くなっている。



【職業別】

職業別にみると、主婦及びその他では「ゆとりがある」と答えた人の割合が60%以上で、「ゆとりがない」を大きく上回っており、農林漁業及び勤め人では「ゆとりがない」の方が多くなっている。また、自営業では「ゆとりがある」（49.0%）と「ゆとりがない」（48.1%）が均衡しているが、「少しゆとりがある方だと思う」と答えた人の割合が前回調査より18.2%増加している。

